

【物品の準備】

＜1 回の嘔吐処理に必要な物品（ノロセット）＞

- 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）

□ 新聞紙（4～5 日分）

□ ペーパータオルなど（すべて使い捨て）

□ 個人防護具(PPE) 2 人分

□ バケツ

□ 2L ペットボトル

□ 2L ペットボトル用ビニール

□ ゴミ袋（90L）2 枚

- 【参考：1 人分の個人防護具(PPE)】
- マスク … 1 枚

□ 手袋 … 3 セット

□ エプロン … 1 枚

□ 髪留め … 1 セット

□ シューズカバー … 1 セット

※サドルカバーでの代用可

※嘔吐発生時にすぐ対応できるよう、職員間でノロセットの場所を確認しましょう


＜次亜塩素酸ナトリウム消毒液の濃度＞

便や吐物が付着した箇所の消毒（嘔吐処理、トイレやおむつ交換台の消毒等）

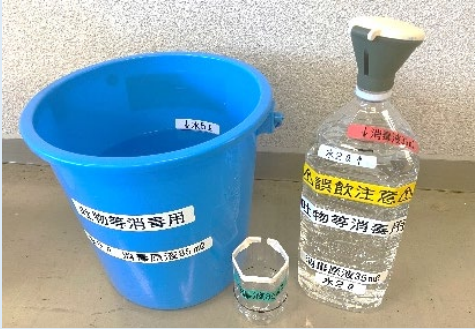
→ 0.1%(1000ppm)で作成

▼0.1%(1000ppm)の次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作成方法

		希釈倍	希釈方法	
次亜塩素酸 ナトリウム 原液濃度	1 %	10 倍	水 1 L + 原液 110 mℓ	水 5L + 原液 550 mℓ
	5 %	50 倍	水 1 L + 原液 20 mℓ	水 5L + 原液 100 mℓ
	6 %	60 倍	水 1 L + 原液 17 mℓ	水 5L + 原液 85 mℓ

 薄めた消毒液は作り置きできません。1 日ごとに作り替えましょ

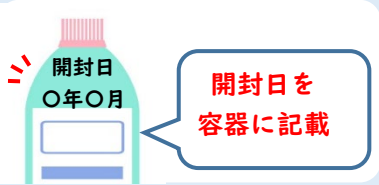
POINT 処理セットの工夫



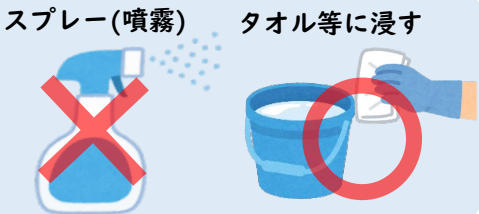
バケツやペットボトルに量の印をつけておくとすぐに消毒液を作成できます

POINT 消毒液の注意点（使用期限、消毒方法）

- ① 使用期限内のものを使用しましょう  
開封後は早めに使い切りを  
目安は開封後 1～3 カ月です



- ② 次亜塩素酸ナトリウム消毒液の  
スプレー（噴霧）は禁止！



※【参考文献】社団法人日本感染症学会、『院内感染対策講習会 Q&A』, 2006 発行.

【嘔吐物処理、消毒方法の手順】

＜役割（2 人での実施）＞

介助者

換気, 他の利用者の避難  
消毒液作成  
吐物処理者の介助

吐物処理者

嘔吐者の介助（別室への  
誘導、着替えなど）  
吐物処理

※感染拡大防止のため処理者・介助者は固定する。他の人は立ち入らない。

＜消毒の段階＞ 3 回消毒するパターン

- 一次消毒

… 目に見える吐物の消毒
- 二次消毒

… 目に見えない吐物の消毒
- 三次消毒

… 残存するウイルスを死滅させる

＜嘔吐物処理、消毒方法 手順＞

	介助者	吐物処理者
嘔吐発生！ 他の人の避難、嘔吐者の対応は終了したとする		
1 換気	2 方向で換気を行う	
2 身支度	① 介助者、吐物処理者ともにアクセサリ類、時計等を外し「エプロン、マスク、手袋 2 重、シューズカバー」を着用。 髪をヘアゴム等でまとめる。 ② 裾が広がるスカートやズボンを着ている時は、ソックスバンド等で裾を止める	
3 準備	① 消毒液を作る ② ビニール袋を被せたペットボトル、バケツ、新聞紙、ペーパータオル、替えの手袋を 汚染区域の外（吐物から半径 2m の場所）に設置する ③ バケツ横に消毒液に浸した新聞紙を敷き、足ふき用にする＝ <b>玄関の設定</b> <div>玄関とは 汚染域と汚染区域の外の境目（吐物から半径 2m）に設定する。汚染域から出てくる時に 玄関で足を消毒することで、汚染の拡大を防ぐ。</div> ④ ゴミ袋 2 枚用意 汚染区域（玄関）の内側、汚染区域（玄関）の外側	





	介助者	吐物処理者	
<div>4</div> <div>一次消毒</div> <div>(目に見える吐物を消毒)</div>	<div>② 乾いた新聞紙を上から吐物処理者に渡す (吐物処理者は新聞紙を下から受け取る)</div> <div>③ 消毒液の入ったペットボトルを吐物処理者に渡す</div> <div>④ 乾いた新聞紙を上から吐物処理者に渡す (吐物処理者は新聞紙を下から受け取る)</div> <div>⑤ ペーパータオルを渡す</div>	<div>① 汚染区域(円の中)に入る</div> <div>② 吐物に乾いた新聞紙をかぶせる。</div> <div>③ 吐物の中心部(新聞紙の上)からペットボトルの消毒液をかける。 (ペットボトルは汚染域の内側に置く)</div> <div>④ 乾いた新聞紙で吐物を内側のゴミ袋の近くにまとめ、すくうようにして内側のゴミ袋に入れる(右図参照)</div> <div>⑤ 取り切れない吐物をペーパータオルでふき取り内側のゴミ袋に入れる</div>	<div></div> <div></div>
<div>5</div> <div>二次消毒</div> <div>(目に見えない吐物を消毒)</div>	<div>① 消毒液を浸したペーパータオルを吐物処理者に渡し、介助者の分も準備する → この後、介助者も一緒にふき取りに入る</div> <div>② 玄関の一番遠いところから、外側から中心部に向かって(右図参照)消毒液を浸したペーパータオルでふき取り、内側のゴミ袋に捨てる。 ※拭いたところを踏んで汚染しないように、後ろ向きでふき取り、内側のゴミ袋に捨てる</div> <div>③ 壁の消毒を行う</div>	<div>POINT 玄関に一番遠いところから後ろ向きでふく! → <u>靴底が汚染している可能性があるため</u></div>	<div></div> <div></div>
<div>6</div> <div>内側のゴミ袋を閉じる</div>	<div>① シューズカバーを玄関で消毒し、玄関から汚染域の外に出る ※何度か足踏み</div> <div>② アウター手袋を外し内側のゴミ袋に入れる 新しいアウター手袋をつける</div> <div>③ ペットボトルをビニール袋から引き出し汚染域の外側に置く</div> <div>⑤ 新しいアウター手袋を吐物処理者に渡す</div> <div>⑥ 内側のゴミ袋に消毒液を回しかける</div>	<div>③ ペットボトルにかけていたビニール袋を捨てる。</div> <div>④ アウター手袋を捨てる</div> <div>⑤ 新しいアウター手袋をつける</div> <div>⑥ 一本結びで口を縛る。内側のゴミ袋を外側のゴミ袋に入れる ※外側のゴミ袋はまだ閉じない</div>	<div></div> <div>→ 袋の中の汚物がこぼれないように一本結びで口を縛る</div> <div><div>・縛るときは袋の口を顔へ向けない ・ゴミ袋の内側には触れない</div></div>
<div>7</div> <div>三次消毒</div> <div>(残存するウイルスを死滅させる)</div>	<div>① 乾いた新聞紙を上から吐物処理者に渡す</div> <div>③ シューズカバーを脱いで捨てる。</div> <div>消毒のため10分間 置く</div> <div>④ 玄関用の新聞紙、消毒に使用した新聞紙を乾いた新聞紙で集め、外側のゴミ袋に捨てる</div> <div>⑤ 残った水分をペーパータオルでよく拭き取る ※転倒防止のため</div> <div>⑥ 1回分としてセットしておいた処理キット(新聞紙、ペーパータオル、雑巾など)はすべて外側のゴミ袋に入れる ※嘔吐処理時に汚染されている恐れがあるため</div>	<div>① 乾いた新聞紙を汚染域(半径2m程度)に敷き詰める。※内側のゴミ袋の場所にも</div> <div>② 消毒液を回しかける</div> <div>③ シューズカバーを玄関で消毒し脱いで捨てる</div>	<div></div>
<div>8</div> <div>脱衣</div>	<div>① アウター手袋を外して捨てる</div> <div>② エプロンを外す 清潔な部分(エプロンの内側)を持って引っ張り紐を切る。その後、汚染部分を丸めて捨てる。</div> <div>③ インナー手袋を外して捨てる</div> <div>④ 下を向いてマスクを外し、捨てる</div>		<div>POINT 手袋の脱衣</div> <div>① 最初の手は手袋の外側を触る</div> <div>② 汚染されていない内側を触る</div> <div></div>
外側のゴミ袋を閉じる	外側のゴミ袋に消毒液を入れ、外側のゴミ袋を一本結びで閉じる 外側のゴミ袋を風通しの良い場所に保管する		
終了	流水と石けんでの効果的な手洗い・うがいをして終了		